

【英語】 出題意図・解答例

問題 1

【出題意図】

本問題は、博士後期課程を志望する受験生に対し、自身の研究計画を英語で簡潔かつ論理的にまとめる力を測定することを目的としている。

1. 研究テーマの明確化

研究計画を英語で記述させることで、受験生が自身の研究領域を具体的に把握しているかを確認する。

2. 学術的英語表現力の評価

博士課程では国際学会や論文執筆など英語での発信が必須であるため、学術的表現を用いて自分の研究を整理・提示できる力を評価する。

3. 研究者としての適性確認

研究背景、目的、方法、意義を 150 語程度で要約する課題を通じて、論理的思考力、要約力、課題意識の有無を測定する。

【解答例】

My research plan focuses on exploring the relationship between prosody acquisition and English proficiency among Japanese EFL learners. Previous studies, including my own, suggest that learners who acquire natural prosodic features such as rhythm, stress, and intonation tend to achieve higher levels of overall proficiency. In this study, I will analyze the listening and speaking performance of university students and correlate it with their prosodic development, using both qualitative and quantitative methods. Special attention will be given to how prosody influences listening comprehension, speaking fluency, and even writing performance. The findings are expected to provide pedagogical implications for English education in Japan, where pronunciation training is often neglected. Ultimately, this research aims to propose effective classroom practices that integrate prosody training into existing curricula, thereby contributing to the improvement of English communication skills and supporting Japan's broader goal of fostering globally competent citizens.

問題 2

【出題意図】

看護職は、科学や医療などの進歩、社会的状況や社会的な価値の変化により多様化する人々の健康上のニーズに対応していくために、高度な専門的能力が求められる。

この設問により、高度な専門的能力をもち、より質の高い看護を提供するための看護職のキャリアに対する意識や考えを問う。

問 1

【解答例】

看護における継続的な専門能力の開発とは、継続的な能力の開発と維持、専門的実践の強化、キャリア目標の達成を支援する学習活動への積極的な参加の生涯にわたるプロセスである。

問 2

【解答例】

この研究の目的は、看護キャリアにわたって CPD に影響を与える要因に関する研究を体系的に統合することである。

問 3

【解答例】

方法 2020 年 2 月から 4 月にかけて、CINAHL、PubMed、Scopus、Psychinfo、Eric の電子データベースを検索した。査読付き学術雑誌に掲載された論文を対象とした。発表日、デザイン、設定に制限を設けずに対象とした。データを統合するためにテーマ別分析を行った。

問 4

【解答例】

新卒看護師、経験豊富な看護師、上級職を目指す経験豊富な看護師

問 5

【解答例】

組織は、継続的な専門能力の開発のために、看護師の個人的な目標と独自の戦略を認識する必要がある。